

9月27日～ 尾瀬 (燧ヶ岳・至仏山)

木田 修司

山名	燧ヶ岳・至仏山		山行名	例会				
ルート	尾瀬 (燧ヶ岳・至仏山)							
山行日	2022年9月27～30日		天候	曇り・晴れ				
参加者	CL:木田 SL:和田 西川(洋)、森本		女性1名、男性3名 計4名					
ルート概略図			コースタイム					
			地名	時:分	地名	時:分		
			(9/27) 大清水			竜宮小屋	着	15:30
				発	12:30			
			尾瀬沼ヒュッテ	着	15:50	(9/29) 竜宮小屋	発	5:15
			(9/28) 尾瀬沼ヒュッテ		5:15	山の鼻	着	6:30
				発			発	6:45
			俎嵯	着	9:00	至仏山	着	10:15
				発	9:30		発	11:00
			燧ヶ岳 (柴安嶺)	着	9:55	小至仏山	着	11:50
発	10:10	発		12:05				
見晴	着	14:50	鳩待峠 (下山)	着	14:00			
	発	14:55						
<p>(9/27) 早朝4時に出発、休憩時間を最小限にひたすら車を走らせ、12時半には秋の気配を感じさせる大清水に到着した。待望の「草紅葉」は三平峠を過ぎた頃、尾瀬沼越しに迎えてくれた。16時前に尾瀬沼ヒュッテに到着。Wさんの常宿だけあって山小屋というより旅館といった趣で、食事前に入浴を楽しめた。</p> <p>(9/28) 今回の山行のメインであり、体調・年齢を考慮しコースタイムの1.3倍を見込んで計画を立てていたが、竜宮小屋到着が16時頃となるため予定を1時間繰上げ、5時出発とした。夜間に聞こえていた雨音は、薄明の頃には上がり辺りは朝もやが漂っていた。準備していた雨具をザックに入れ直し、回復に向かう天気予報に気を良くしながら出発。浅湖湿原の草紅葉と、尾瀬沼に映る山並みに足を止めながらも緩斜面の長英新道を順調に進んだ。勾配が徐々に増すと共にペースを確認しながら休憩を取った。標準タイムを少し過ぎる程度で俎嵯(2,346m)に到着。ここから一旦下り柴安嶺(2,356m)には、9:55登頂し、東北地方の最高峰でつかの間の時を楽しんだ。見晴新道新ルートの下りは、事前調査では登山靴が沈み込むほどの大変なぬかるみを覚悟していたが、思ったほど軟弱な山道ではなかった。しかし、樹林帯での湿り具合は相当あり、粘土質の岩でNさんが転倒して顔面を強打するアクシデントが発生した。山腹の山道で崖地でなかったこと、捻挫等の足への影響がなかったことで、自力で下山を継続することができた。声をかけながら気をつけて下っていたが、一瞬の出来事で、湿った岩や木の根の怖さを改めて思い知らされた。勾配が緩やかになるに従い、ぬかるみが多くなり足場の確保や迂回路を探しながら見晴にたどり着いた。</p> <p>(9/29) 痛みの残るNさんは無理をしないことにし至仏山登頂を中止、尾瀬沼散策に変更して鳩待峠で合流することにする。3名は、予定通りの行動で5時過ぎに出発、振り向くと朝霧の中で明かりを灯す竜宮小屋、その上方には昨日登頂した燧ヶ岳が雄姿を見せてくれている。何度も何度も振り向き、その姿をカメラに収めた。また、前方は草紅葉と朝霧の上に至仏山がゆったりと横たわり、私たちの登頂を待っていてくれている。樹林帯の急坂を登り、森林限界を過ぎた辺りから見た尾瀬沼・燧ヶ岳は、観光ポスターでよく見る風景が広がっている。10時過ぎには山頂で朝食を兼ねた昼食と熱いコーヒーを頂き、360°広がる山並みを時間を忘れていつまでも楽しんだ。(残念ながら富士山は、赤城山に隠れて見えなかった。)CLが出発時の一歩目で岩につまずき前のめりに転倒。平場だったこともあって無傷だったが、休憩を取り過ぎたからの気の緩みなのか、ほんの一瞬の気の緩みが大事を起こす可能性に大いに反省した。ここから、小さくまとまった可愛い小至仏山を通過し、14時には三条の滝に行ったNさんと鳩待峠で無事に合流し、乗合バスで戸倉まで移動後、宿の車で大清水に駐車した車を取りに行く。</p> <p>(9/30) 沼田市を9時に出発、圏央道まわりで1時間程度の渋滞はあったが18時には帰宅することができた。</p>								
ヒヤリハット : 転倒1件								

感想文

和田 千恵

尾瀬の草紅葉は初めてでした。6月に散策し、今回14回目となり年2回訪ねたのも初でした。

そして、誕生日に尾瀬に居て、燧ヶ岳、至仏山の2山を完遂できるとは思ってもみませんでした！いつものように尾瀬沼は私をやさしく迎えてくれ、燧ヶ岳が真正面に、その前の湿原は黄土色のグラデーションを見せてくれました。燧ヶ岳のぬかるみに足を取られ、やっと小屋に着いたときはほっとし、至仏山の登り始めの直登と蒼空、頂上が見えたと思うとまだの連続。鳩待峠に降りて、宿のかけ流し温泉には癒されました。

4人のこじんまりしたパーティーは、いつも賑やかに笑い声が絶えず、素晴らしい仲間を支えられて登れたことを感謝いたします。

山の状態を細かく調べ時間設定をうまく調整し、往復車を飛ばしていただいたCLはじめ同行の皆様、ありがとうございました。



9/27 三平峠過ぎて、「草紅葉」と尾瀬沼越しに見える燧ヶ岳をバックに



9/28 燧ヶ岳(柴安嶺)山頂



9/29 夜明けの「草紅葉」と燧ヶ岳

9/29 至仏山
山頂



9/29 「草紅葉」と燧ヶ岳
(Wさん14回目の尾瀬)



9/29 尾瀬ヶ原と燧ヶ岳